

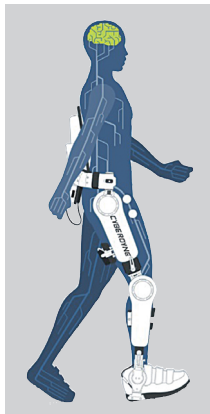


装着型サイボーグHAL®をご存じですか？

けがや病気で動かすことが難しくなった身体を「もう一度動かしたい」、「車椅子から立ち上がって歩きたい」などの願いを叶える装着型サイボーグHAL®が利用できます。

装着型サイボーグHAL®って？

下肢用
装着型サイボーグ
HAL®



HAL®とは、手や足を動かしたいと考えたときに、脳から出る信号をセンサーで感知し、動きにくくなった部分をアシストして動かす世界初の装着型サイボーグです。

単に動きをアシストするものではなく、脳神経系とつながり、意思に従った動作をサポートするため、身体機能の維持・向上を促進することが期待されます。

なお、本市では、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿ロボケアセンターと三者で協定を締結し、装着型サイボーグHAL®を用いた専門プログラムを行える学生の育成にも取り組んでいます。

専門プログラムの助成を受けることができます

本市では、鈴鹿ロボケアセンターと連携し、CYBERDYNE(株)が開発した装着型サイボーグHAL®を利用した市民向けの専門プログラムに対して、助成を行っています。

対象 上肢、下肢、体幹または移動機能障害1～3級の身体障害者手帳をお持ちの方

※すでに制度を利用された方は対象になりません。

助成内容 ①90分×10回(自己負担5,000円/回)
②60分×10回(自己負担3,000円/回)

※障がいの内容に応じて①か②のどちらかの助成が受けられます。

申込み 身体障害者手帳と印鑑を持参の上、障がい福祉課へ
※初回カウンセリング(有料2,000円)の結果によって、専門プログラムの可否が決定します。

※トレーニングの場所は、鈴鹿ロボケアセンター(株)(岸岡町1001-1 鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス内)です。

HAL®による機能向上の流れ

障がい者の方が 身体を動かそうとする

身体を動かそうとすると、動作意思を反映した信号が脳から筋肉へ伝達されます。

HAL®が信号を読み取り 意思どおり動く

脳から筋肉への生体電位信号(微弱な信号)を読み取り、装着者がどう動きたいかを認識し、各関節のパワーユニットが意思に従った動作を実現します。

身体機能の維持・向上を促進

HAL®を使った生体電位信号に基づく運動を繰り返す行うことで、身体機能の維持・向上や自立度を高めます。

小さな子どもも利用できます

開発当初は大人のサイズしかなかったHAL®ですが、さまざまな機種が開発され、今では小さな子どもでも専門プログラムを実施できるようになりました。本市でも5歳の子どもが専門プログラムを行った実績があります。

脳性まひなどによる運動機能障害を持つ子どもにも利用することができますので、ぜひ一度体験してみてください。

